

# 学際的視点から 人類のレジリエンスを捉え直す

日時: 2023年11月18日(土) 定員:100名(事前登録制)

場所: 京都リサーチパーク 4号館 ルーム1

## 第I部 10:10～ 高精度の古気候復元と食リスク対応の歴史研究

- ① 年縞を読み解くための新手法:高純度花粉化石を使った古気候復元  
山田圭太郎(R-GIRO・助教)
- ② 近世日本における“食リスク”に対する公権力の対応  
郡山志保(R-GIRO・研究員)
- ③ 自然の「恵み」と「災い」の境界線ー過去の人々の自然観を手かがりにー  
鎌谷かおる(食マネジメント学部・教授)

## 第II部 11:30～ 過去と現在をつなぐパブリック考古学の現在地

- ① ヘリテージとレジリエンス:ペルーと日本における考古・歴史遺産の現代活用  
SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante(政策科学部・准教授)
- ② 考古学における 3D スキャン:プロジェクト計画、データの再利用と社会活用  
NOXON Corey Tyler(R-GIRO・助教)
- ③ アーキオロジカル・プロトタイピングの可能性  
中村大(R-GIRO・准教授)

## 第III部 14:00～ 現代社会の危機とレジリエンスを考える

- ① 軍隊は社会インフラとサプライチェーンの破壊者なのか?  
玉井良尚(R-GIRO・助教)
- ② 3.11大津波と太平洋沿岸地域のレジリエンスの諸相  
内尾太一(静岡文化芸術大学文化政策学部・准教授)
- ③ 災害・危機に対するレジリエンス強化のためのシリアスゲームの可能性と課題  
シン・ジュヒョン(衣笠総合研究機構・専門研究員)、小川さやか(先端総合学術研究科・教授)

## 総合討論 15:40～17:20

パネリスト:

清水展(関西大学政策創造学部・客員教授)、三原久明(生命科学部・教授)

※事前登録されていない場合は入場できない場合がございます。

\* 事前登録方法 \*

環太平洋文明研究センターのホームページ  
シンポジウム開催情報をご確認ください。

<http://www.ritsumeai.ac.jp/research/rcppc/>

事前登録は  
こちらから→



# 開催にあたって

環太平洋文明研究センターを拠点とし 2022 年から開始された R-GIRO 第 4 期研究プログラムでは、古気候学・考古学・地理学・歴史学・人類学など幅広い学問分野が協働します。自然災害やパンデミックが頻発するとともに、急速な技術革新で将来を展望しづらくなる現代、こうした諸課題に実効性のある解決策を見出すためには、大きな時間的スケールで人類史的な視座に立ち、幅広い学問領域を融合させた研究が必要です。本プロジェクトでは、災害・危機とともに発展してきた日本を含む環太平洋地域の「災害危機文明」に注目し、自然環境と人類社会の変容を超長期的のスパンで捉えます。シンポジウムではこれまでの研究成果をわかりやすく解説します。また、資源地政学やテクノロジーマネジメント、経営技術、都市政策の研究者とともに、現代の災害・危機に対する人類社会のレジリエンス強化のための学際研究における課題と展望、研究知を生かした共創の場構築などについて討論を行う予定です。

## テーマの趣旨

### 第Ⅰ部

古気候の復元はレジリエンスの人類史研究に必要不可欠です。気候や環境の変化は、食糧問題を引き起こす主要な要因の一つですが、それに対する対応と人びとの認識や対処の仕方が実際の災害や危機の程度を左右します。こうした環境と社会との関係の歴史をひも解くことは、現代と未来の社会のレジリエンスを考えるために重要な参照情報を提供してくれます。

### 第Ⅱ部

モノや空間から人びとの活動や認識を復元・理解しようとする考古学の手法は、過去だけでなく現代社会の分析にも利用可能です。また、パブリック考古学は地域史に関する専門家と市民の協働を促進します。さらに、レジリエンスの歴史解明にとどまらず、レジリエントなデザインやシステムの提案にも貢献することが期待できます。

### 第Ⅲ部

現代に頻発する災害・危機への対応を分析するとともに、そこから得られた知見をいかにして人びとが共有し、自分自身のライフストーリーに物語として身体化していくことができるのか。これはレジリエントな社会や文化を共創するための共通認識や協調関係の構築を進めるうえで重要なテーマとなります。

## 会場へのアクセス

### 京都市立総合研究センター（西地区）

JR 嵯峨野線 丹波口駅より五条通を西へ 徒歩約 5 分  
京都市営バス 73、75、83、86 号系統  
京阪京都交通バス 21、21A、27 号系統  
いずれも「京都市立総合研究センター前」下車 徒歩 5 分  
〒600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町 90～94  
※会場へお越しの際は公共交通機関をご利用ください。



共催

立命館大学環太平洋文明研究センター

(Research Center for Pan-Pacific Civilizations Ritsumeikan University, R-PPC)

立命館グローバル・イノベーション研究機構

(Ritsumeikan Global Innovation Research Organization, R-GIRO)

お問い合わせ: 立命館大学衣笠リサーチオフィス TEL:075-465-8236